

2023 年 12 月 12 日

株式会社 QPS 研究所の株式売却について

株式会社 INCJ（本社：東京都港区、代表取締役社長：勝又 幹英、以下「INCJ」）は、INCJ が保有する株式会社 QPS 研究所（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長 CEO：大西 俊輔、以下「QPS」）の全株式について、東京証券取引所グロース市場にて売却を完了したことをお知らせします。

<ご参考情報>

1. 対象会社

- ・ 事業者名：株式会社 QPS 研究所
- ・ 設立：2005 年 6 月
- ・ 所在地：福岡県福岡市
- ・ 代表者：代表取締役社長 CEO 大西 俊輔
- ・ 事業内容：SAR*システムを活用した小型衛星の企画・製造・運用、自社の運用する小型 SAR 衛星からの SAR 画像データの取得、分析、販売及びこれらに関する技術コンサルティング
- ・ URL：<https://i-qps.net/>

*SAR：合成開口レーダー（Synthetic Aperture Radar Radar）。衛星に搭載し宇宙空間を移動することで仮想的に大きな開口面として働くレーダーでセンサーからマイクロ波を発射し、地表で跳ね返ってきたマイクロ波をとらえる。

2. これまでの支援内容

- ・ 支援決定公表日：2017 年 11 月 6 日
- ・ 支援決定金額：8.5 億円（上限）
- ・ 実投資額：8.5 億
- ・ プレスリリース：世界最軽量の小型レーダー衛星を開発する福岡発宇宙ベンチャー、QPS 研究所への出資を決定

https://www.incj.co.jp/newsroom/upload/docs/INCJ_QPS_20171106.pdf

3. Exit の経緯

(1) 出資について

QPS は世界最軽量級の地球観測用小型レーダー（SAR）衛星の開発に取り組む九州大学発のベンチャー企業。SAR 衛星は昼夜・天候に関係なく観測し、対象物の識別や特定等、詳細な情報を取得することができる。一方、大型のアンテナと多量の電力消費量が

課題となる中、QPS は収納性が高いアンテナを開発し、SAR 衛星の軽量・小型化を実現した。INCJ は QPS が開発した革新的な小型アンテナが SAR 衛星の展開を加速し、防災、防衛、環境調査等、様々な分野に貢献することを期待し、ベンチャーキャピタル等と共同で QPS に出資した。

(2) 出資後の事業進捗

INCJ の出資以降、QPS は独自に開発したアンテナを搭載した小型 SAR 衛星の開発を進め、同社による小型 SAR 衛星は重量、電力、コスト、取得画像の精度において、高い競争優位性を獲得している。また、将来的には 36 基の衛星を配置し、地球のほぼどこでも平均 10 分以内に撮影する「準リアルタイム観測」を目指し、衛星の打ち上げを行っている。地元企業とも協働し、九州地域における宇宙産業エコシステムの形成にも取り組んでいる。

(3) Exit の経緯・内容

INCJ は出資以降、社外取締役の派遣や事業開発支援等、様々な経営支援を行ってきた。QPS は着実に事業を進展させ、東京証券取引所グロース市場へ上場するに至った。INCJ としては投資時の目的は果たしたと判断し、市場にて保有株式の売却を進め、このたび株式の売却を完了*した。

*当社は、2023 年 12 月 4 日、SMBC 日興証券株式会社との間で、保有する株式の売却を目的として、株式売却委託に関する契約を締結し、株式の売却を実施しております。

4. 主務大臣（経済産業大臣）意見

本案件は、大学発の技術を核とした世界最軽量級の小型 SAR 衛星の開発を行うスタートアップ企業に対する支援であり、今後の宇宙産業を牽引する企業へと成長することが期待される。株式会社 INCJ による本案件への投資を通じて確立されたビジネスモデルが、新たな株主の構成の下でさらに進展し、地域の地場企業とのオープンイノベーションにより地域経済の発展に寄与することを期待したい。

株式会社 INCJ について

株式会社 INCJ は、2018 年 9 月、既存の官民ファンドである株式会社産業革新機構から新設分割する形で発足しました。産業革新機構は、2009 年 7 月、産業や組織の壁を越えて、オープンイノベーションにより次世代の国富を担う産業を育成・創出することを目的に設立されましたが、根拠法である産業競争力強化法の改正法の施行に伴い、同機構は株式会社産業革新投資機構に商号変更し、新たな活動を開始しました。株式会社 INCJ は、産業革新機構の事業を引き継ぐ形で、既投資先の Value up 活動や追加投資、マイルストーン投資、EXIT に向けた活動を主要業務として、2025 年 3 月末まで投資活動を行っていきます。

URL : <http://www.incj.co.jp/>

＜本発表資料のお問い合わせ先＞

株式会社 産業革新投資機構 経営企画室 広報

奥村（070-3960-3640）、野々宮（080-1339-5207）（報道関係）

東京都港区虎ノ門 1-3-1 東京虎ノ門グローバルスクエア

URL : <https://www.j-ic.co.jp/jp/>

<https://www.incj.co.jp/>